



第105号

発行

社会福祉法人恵風会・あざみ園・あざみ園保護者会

〒930-2102 富山市山田宿坊1-8 / TEL (076) 457-2301 / FAX (076) 457-2303
http://www.knei.jp/~azamien/ E-mail azamien@knei.jp

高齢化への備え

保護者会長 服部隆則

高齢化が進む現状について様々な角度から対策が検討されています。

私たちあざみ園の保護者会としてもこの問題は提起されてきましたが、具体的な取り組みはされていないのが現状であります。施設入所者の高齢化にともないその対応に迫られる施設が全国的に増えつつあると耳にします。富山県内の施設でもすでに高齢化に対処しているところもあります。

あざみ園も開設して26年が経過しております。開設時に入所した利用者は40代に達し、平均年齢も45歳くらいであろうと思います。この年齢でみれば高齢化にはまだまだ時間があるように思われますが、50代以上の人員が11名になっていることを考える必要があります。知的障がい者は得てして他の合併症を持っていることは珍しくありません。健常者であっても中年といわれる年齢から成人病などが発生しますので、比較的若い年齢からでも油断はできません。歳を重ねると共に充分警戒する必要があります。体力の衰えも健常者より速いと考えられます。

施設におけるケア・支援体制も利用者の実情に沿って徐々に整備してゆくの肝要であります。そのために保護者会としてどのようなバックアップができるのかを考えるときに差しかかっています。そしてこのことを考えようとする私たち保護者のほとんどがすでに高齢者になっている現実があります。この問題を考える私たちは急がねばなりません。この高齢化対策は医療、受け入れる場所、支援に携わる人など枚挙にいとまが無いほどの解決すべき問題が横たわっております。

しかし、私たちとしては今できることから手掛けてゆかなければならない最重要課題の一つであります。知恵を出し合ひましょう。



H25.11.23

ゆめの森 収穫祭

あざみ園からは、ゆうゆう館の畑で作った石焼き芋を、どんぐり工房からはパンやクッキーを販売しました。寒い中、沢山の来場客がお越しになったのであっという間に完売！！どうもありがとうございました！！



H25.12.20

クリスマス会



「メリ～クリスマス☆」ということで皆さん待ちに待っていた「クリスマス会」が行われました。今回は、各寮が構成を練って、ユニークな動画を事前に作成し、それを当日みんなで鑑賞しました。サンタに扮したり、面白キャラを演じたり、自分たちが映像の中に登場すると「あっ～」と盛り上がり、面白映像には笑い声が溢れました。そして、誰も予想だにしていなかったが、園長室からサンタが登場！お願いしていたプレゼントが、みんなの手元に届けられました♪今年も笑顔＆幸せいっぱいのクリスマスになりました！

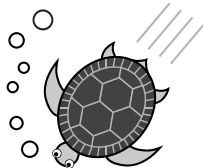



ゆとりの時間

水族館

H25.10.29

魚津水族館に行ってきました。たくさんの魚や水辺の生き物を見ることが出来てとても楽しかったです♪



電車

H25.11.26

電車で揺られてガタンゴトン。様々な景観に興味津々♪ところで皆はどこに行くのかな？



リンゴ狩り

H25.11.7

11月に山田の清水のリンゴ園にリンゴ狩りに行ってきました。赤く甘いリンゴをたくさん食べてきました♪



紅葉狩り

H25.11.19

稲葉山まで紅葉狩りに行ってきました。天候は悪く外に出る事が難しかったですが、車の中から景色を眺めたり、牧場にて動物と触れ合ったりして楽しんでもらえたかと思えます。



映画

H25.12.17

楽しみにしていた映画の日、コナンVSルパンを見てきました。皆さん、真剣に見入っていました。



映画には後は美味しいランチタイム。満腹になって満足な様子でした。

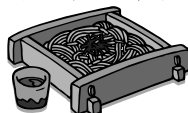


そば打ち

H26.1.23

1月23日に八尾町のゆうゆう館へそば打ち体験に行ってきました。

そば粉を混ぜたり伸ばしたりと難しかったけど、みんな上手だと先生に褒められたし、そばもとっても美味しかったです。



H25.12.25



もちつき大会

毎年恒例のもちつきがやってきました。みんなで力を合わせてペタン、ペタン、ペタンコ！おいしいおもちの出来上がり♪いただきます！



自治会だより

H26.1.6

書き初め

新年あけましておめでとうございます！一年の始まりにそれぞれの思いを胸に筆を走らせます。今年も午年！何事もうま〜くいきますように♪



字に心は現れるのよ♪



今年も良い年になりそう！

行事のご案内

2月の行事



- ・ 2日…来園日
- ・ 6日…ゆとりの時間 温泉(男性)
- ・ 11日…ゆとりの時間 温泉(女性)

3月の行事



- ・ 2日…来園日
- ・ 11日…カラオケ①
- ・ 18日…カラオケ②

4月の行事



- ・ 7日…来園日

●●● やまぶき寮 ●●●

**社会見学
「ボウリングをしよう！」**

平成25年12月5日(木) 於 アピタ富山東店

今回の社会見学は年末でもあり「何か寮のメンバーみんなで楽しめることを」との思いから企画されました。やまぶき寮は年齢層にとっても幅があり、年長者の皆さんが楽しめるのか！？当日までとても不安でした。しかし、当日になると、そんな職員の不安はよそに利用者の皆さんが「ボウリングに行くぞ！」とヤル気に満ち満ちていました。自分の力で投球をされる方、補助台を使う方など様々でしたが、それぞれにゆったりとボウリングを楽しめた一日でした。



「赤田ホーム」ニュース

旅行に行ってきましたよ！

今回の旅行は温泉街にて二次会がしたいというコンセプトの宿泊旅行でした。小松航空プラザと日本自動車博物館を観覧後、宿泊先の山中温泉「桂御園」へ移動、それぞれに温泉、宴会を楽しんだ後、温泉街にて二次会へ。目的が達成され、皆さん楽しかったと声が出ており、帰りには来年の旅行の話をしていました。



「羽根の家」ニュース

研修旅行に行ってきました！

今回の研修旅行は上市町にある就労継続B型事業所、シフォンケーキやパンなどを販売している『ワークハウス 剣』を見学してきました。施設の概要等の説明を聞き、質問はないですかと職員から聞かれると、利用者の方からも色々質問が出てきました。

昼食後は湯神子にて美味しいご馳走とカラオケなど宴会、温泉を堪能してきました。

職員研修参加報告

福祉講演会

生活支援員 若林 千春

今回の講演は、富山福祉短期大学の2人の講師による「利用者の高齢化に伴う支援」個別的な介護と医療的な支え」という内容のお話でした。

まず、障がい者の高齢化を特別と括って話すのではなく、障がい者の有る無しに関わらず「平等に高齢化」はみんなにやってくる。それに際しての身体的衰えや病気、気持を理解し、より良い人生を送ってもらう為には、家族や施設、支援員としてどう対応して行くべきなのかというものでした。30年ほど前は20代の利用者が多かったのに対し現在は50代の利用者が増えており、利用者の50歳からという年齢は支援員が利用者の著しい変化に驚き、対応に戸惑い始める年齢とのことで、高齢者の病気として認知症を取り上げ、発症年齢

や主な症状、それに対する心構えやケアなど話されました。また、ある介護施設の高齢化した利用者の例を挙げて、本人の訴え、心の不安やそれに対する職員への対応なども分かりやすく聞くことができ、私自身も今後どう対応して行くべきなのか考える事ができました。

障がい者の方の場合、障がいによるものなのか、高齢による身体機能の低下か、知的機能の低下なのか、薬の影響かなど判断が難しい事があり、そのために普段から利用者により密接に関わり、会話し理解を深め、まずは変化に気付くことがとても大切である。そして、利用者本人になりきって「こうしたい！こうなりたい！」という思いを酌み、出来ないではなく何が出来てきているのかを知ることが重要とのことで、高齢化する利用者へ支援員として、冷静でクリアな心で対応すること、本人の思いを大切にすることなどを改めて考えさせられました。

地域リハビリテーションフォーラム
— 地域で生活すること
— 教育から地域へ —

生活支援員 藤野 兼司
生活支援員 大森 理絵

12月4日にサンシップとやまで開催された、地域リハビリテーションフォーラムに参加してきました。午前は富山福祉短期大学教授の鷹西先生の講演、午後は相談支援に関わるシンポジウムが行われました。

鷹西先生の講演の中で、「ジュディー・ヒューマーの「障がい者にも失敗する権利を与えよう」という言葉が挙げられています。失敗の経験が成長に繋がることや、失敗をして理解出来ることも多く、私達支援者が利用者の方が失敗できる環境を整えることの大切さを改めて考えさせられました。それは、失敗を恐れられない支援や失敗をしてからのリカバリーの仕方、利用者の方が失敗しても受け入れて次に繋げる心の余裕を持つことが挙げられると思います。これらのことから、利用者の方の可能性を広げ、失敗を通して成長できる喜びを共に感じられるような、今以上にアクティブな支援を私

自身も行っていきたく感じました。
(藤野)

午後のシンポジウムでは、初めて外部の相談支援の話聞き、相談支援の難しさと今後の事業の重要性を感じました。相談支援は、「利用者の方のニーズを受け止め人生に寄り添っていかなければならない」とシンポジウムの中で話されていました。その為に、多くの関連施設や法制度を利用していかなければならず、支援する側の知らない・分からないは全く通用しないのだという事を改めて考えさせられました。私自身も、常にアンテナを張りながら適した支援に繋げていけるよう、変わりゆく制度の知識を深めていかなければならないと思いました。

(大森)



保護者会コーナー

第46回手をつなぐ育成会 東海北陸大会 地域との連携と信頼の輪を広げ 共生社会の実現を目指そう

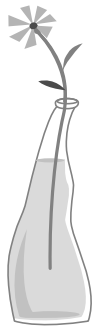
あざみ園保護者 水野みや子

台風27号が接近する不安を抱きながらの出発となりました。宿泊先河口湖畔に到着、世界遺産富士山を望む事は出来ず残念でした。大会当日も台風の影響で雨、静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」は、富士山を模した素晴らしい建造物でした。私は第七分科会「本人の意思決定に沿った地域生活の実現」に参加しました。全日本育成会、又村あおい氏の講演があり、重度の障がいがあっても、必ず意思や意向、又考えや気持ちがあり自分で決める事が出来る。それを前提として、ではどうすれば意思の決定を支援する事が出来るかを考えるのが難しい所である、と話される。シンポジストでは、弁護士、施設長からの発表がある。弁護士の立場か

らは、障がいの内容、程度に応じた必要最小限の制度の運用を見直して行く必要がある。施設長の立場からは障がいが重度であっても本人には、「これが良い」と意思がある。支援者には、表面的な言葉の奥にある本人の思いをくみ取り、実現に向けた支援を行いたい。又重度の園生がどうしても施設からケアホームに移りたいと要望があり、両親は猛反対していたが、本人のあまりにも強い意志を尊重し、今では、支援を受けながら毎日楽しい生活を送っている実例も話された。二日目は大会式典があり、地元特別支援養護学校の和太鼓の発表から始まり、富山県からは、三名の方々が日々努力、貢献され、彰

状授与されました。その後、中央情勢報告及び記念講演があり、二日間の大会が終了しました。今回参加して感じた事は、育成会の行政、情報、制度等々認識不足が多々あり、反省をさせられました。懇談会では、他の施設の保護者から大変貴重な意見も聴かれ、有意義な大会となりました。

コ★ラ★ム



年老いた私がある日
今までの私と違っていたとしてもどうかそのままの私のことを理解して欲しい
食べ物をこぼしたり、同じ話を何度も繰り返しても
うなずいてほしい
足も衰えて立ち上がる事すら出来なくなっても
私を理解して支えてくれる心だけを持つていて欲しい
私の人生の終わりに少しだけ付き添って欲しい
あなたに対する変わらぬ愛を持って笑顔で答えたい

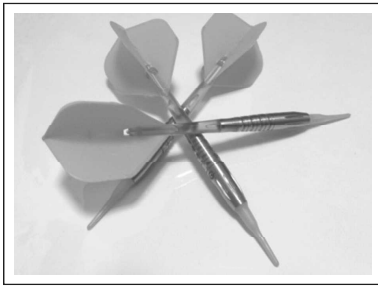


職員のスーツ

私のすきなこと

石黒 雄太 支援員編

私の好きな事は、簡潔に述べる、一人でも複数の人数でも、楽しく遊ぶという事です。そのなかで、特に好きなのは、ダーツとスノーボードです。ダーツは、2年前に友達から教えてもらいました。始めた頃は、集中力が足りず上手にいきませんでしたが、友達と遊んで行くうちに徐々にイメージ通りに投げることができ楽しく感じるようになりました。スノーボードについては、3年前から始めました。スキーもやっていたので、思ったよりすぐに滑ることができました。今年のは、滑るだけではなくグラトリにも挑戦していきたいと思っています。教えてもらうなどして、上手くなれるよう頑張りたいです。この他にも、高校までしていたサッカーや、友達と車を近先輩から教えてもらった釣りなど、たくさん好きな事があります。どれもまだまだ未熟ですが、ずっと続けていきたいです。



今回は吉田 彩峰 支援員編です。お楽しみに!!

助成金

ありがとうございます

(平成25年11月～平成26年 月)(敬称略)

- ・公益財団法人みずほ福祉助成財団
- ・高齢者配食サービス事業拡大のための作業施設改修工事助成 100万円

あざみ園へ来園された皆さん

(平成25年11月～平成26年 月)(敬称略)

- ・山田地域自治振興会 一行
- ・富山市議会議員 浅名長在 工門
- ・富山市山田総合行政センター所長 館谷明彦
- ・富山県手をつなぐ育成会 常務理事 事務局長 平野幹夫

善意の心

ありがとうございます

(平成25年11月～平成26年 月)(敬称略)

- ・富山県野菜出荷組合協議会
- ・本多重治
- ・広田留雄
- ・中村しづ江
- ・富山県善意銀行
- ・金岡紘子

実習生

○施設実習：11月11日～11月22日

- ・富山国際大学 子ども育成学部 2年
- ・黒田菜南、田中康平、早崎和基

ボランティアありがとうございます

(平成25年11月～平成26年 月)(敬称略)

- ・関由美子 (食品加工)
- ・道下和美 (音楽療法)
- ・中野裕子 (音楽療法)
- ・山本明美 (アクアクラブ)
- ・大瀬春江 (手工芸クラブ)
- ・石田すみ子 (手工芸クラブ)
- ・日赤奉仕団 (シーツ交換)
- ・浅野 慎、女川朔宣
- ・1日ボランティア 富山福祉短期大学

どんぐり工房では「ハートとやま in 婦中」にてパン販売を行います。

- ◆会場：ファボーレ
 - ◆日時：H26.2.22(土)～23(日)
- 手作りパンを販売していますので興味のある方はご来店をお待ちしています。また、前売り券(500円分)も400円にて販売しています。



■お問い合わせは、あざみ園またはどんぐり工房まで

後編 集記

寒い日が続いていきますね...皆さん元気に過ごしてでしょうか?先日、富山第一高校のサッカー部が全国制覇を果たし、新年から素晴らしいニュースを運んで来てくれましたね!私たちも、寒さや風邪などに負けずハツラツと過ごしていきたいものです。